

人類社会のための地球観測ミッションに関する一考察 A Study on the earth observation mission for human society

本多 嘉明^{1*}

HONDA, Yoshiaki^{1*}

¹ 千葉大学環境リモートセンシング研究センター

¹Center for Environmental Remote Sensing, Chiba University

2011年度、JAXAの元で将来の地球観測ミッションとしてどのようなものが想定できるかの議論をはじめた。この報告は陸域を対象とした分科会で議論された概要である。今後議論を広げて行くために現段階を報告する。

2011年世界人口は70億人を超えた。国連人口白書によると出生率自体は低下しつつあるものの、世界人口はこの後も増加傾向が続き2050年には90億人を超え2090年には100億人を超えると予測されている。1798年に出版されたマルサスの人口論では食糧と人口のバランスが著しく崩れるときに大きな問題が生じるとされ、21世紀には気候変動の元、この問題の顕在化が懸念される。当分科会では食糧生産に関係する地球観測を中心に議論を進めた。

キーワード: 地球観測

Keywords: earth observation